

令和6年度 学校評価の結果 飯塚市立小中一貫校幸袋校中学部 4段階評価(良いほうから 4→3→2→1)

		評価項目	教職員 平均	保護者 平均	考 察	学校運営協議会委員による評価		
			7年	8年	9年	平均		
教職員 学習指導	1	チャイムと同時に授業が始まられる。	3.5	/	/	/	○「チャイムと同時に授業が始まられましたか。」が3.5、「落ち着いた雰囲気の中で授業が行われましたか。」3.5であることから、生徒は、落ち着いて授業に取り組めていることがわかります。	
	2	授業のはじめと終わりのあいさつが、きちんとできている。	3.5	/	/	/	○「授業において、生徒に基礎・基本を習得させるための工夫を行いましたか。」が3.4、「授業で、タブレットや情報・視聴覚機器を活用できましたか。」が3.4であることから、本年度基礎学力定着のために行った「ブクロンピック」(徹底反復学習)の取組や、AIドリル「キュビナ」を授業の中で活用することができ、どの教科においても基礎・基本の定着を目指した取組ができていると考えられます。	
	3	生徒は、学習用具の準備がきちんとできている。	3.0	/	/	/	▲「生徒の学力は、向上していると考えますか。」が2.8と低い数値となっています(9年生の学力実態はかなり厳しい状況である)。また、「課題を出すなど、家庭学習を定着させる工夫をしていますか」が2.7であり、授業と家庭学習をつなぐ手立てが必要であると分析します。家庭学習の必要性を生徒に伝え、主体的に取り組むことができるようしていく必要があります。	
	4	落ち着いた雰囲気の中で授業が行われている。	3.2	/	/	/	▲「授業における学力向上プランの成果はどの程度でしたか。」が2.7と低い数値となっています。今後教師は生徒の実態に応じて計画的に授業を実施し、評価・改善を図りながら、個々に応じた指導へつながる学力向上プランを再考しながら授業を行う必要があります。	
	5	生徒の学力は、向上していると考えますか。	2.8	/	/	/	○「お子さんは、学校に通うことを喜んでいる。」が3.0となっています。アンケートの記述から、友人と過ごすことを楽しみにしている生徒が多いことがわかりました。	
	6	授業で、学力向上プランはどの程度実施できましたか。	3.0	/	/	/	○「お子さんは、学習用具などの忘れ物をしない。」が2.9となっています。学年通信での時間割の周知及び、委員会活動としての教科連絡が機能していると考えられます。	
	7	授業における学力向上プランの成果はどの程度でしたか。	2.7	/	/	/	▲授業に関する質問項目が2.5~2.6と低い数値となっています。アンケートの記述から苦手教科に取り組むことが難しい生徒がいることが分かりました。教科を学習する意義を伝えていくとともにわかる授業の充実に努めていく必要があります。	
	8	授業において、毎時の主眼(ねらい)を設定できていましたか。	3.2	/	/	/	○「お子さんは、家庭で学習する習慣が身についている。」が2.6と低い数値となっています。今後も家庭学習を定着させながら、個々に応じた指導へつながる学力向上プランを再考しながら授業を行う必要があります。	
	9	授業において、生徒に基礎・基本を習得させるための工夫を行いましたか。	3.4	/	/	/	○「お子さんは、学校に通うことを喜んでいる。」が3.0となっています。アンケートの記述から、友人と過ごすことを楽しみにしている生徒が多いことがわかりました。	
	10	授業で、タブレットや情報・視聴覚機器を活用できましたか。	3.4	/	/	/	○「お子さんは、学習用具などの忘れ物をしない。」が2.9となっています。学年通信での時間割の周知及び、委員会活動としての教科連絡が機能していると考えられます。	
	11	課題を出すなど、家庭学習を定着させる工夫をしていますか。	2.7	/	/	/	▲「授業における学力向上プランの成果はどの程度でしたか。」が2.7と低い数値となっています。今後教師は生徒の実態に応じて計画的に授業を実施し、評価・改善を図りながら、個々に応じた指導へつながる学力向上プランを再考しながら授業を行う必要があります。	
保護者	12	お子さんは、学校に通うことを喜んでいる。	/	2.9	3.0	3.0	3.0	○「お子さんは、学校に通うことを喜んでいる。」が3.0となっています。アンケートの記述から、友人と過ごすことを楽しみにしている生徒が多いことがわかりました。
	13	お子さんは、学校の授業がわかると話している。	/	2.6	2.5	2.7	2.6	○「お子さんは、学習用具などの忘れ物をしない。」が2.9となっています。学年通信での時間割の周知及び、委員会活動としての教科連絡が機能していると考えられます。
	14	お子さんは、学校の授業を楽しみにしている。	/	2.3	2.6	2.6	2.5	▲授業に関する質問項目が2.5~2.6と低い数値となっています。アンケートの記述から苦手教科に取り組むことが難しい生徒がいることが分かりました。教科を学習する意義を伝えていくとともにわかる授業の充実に努めていく必要があります。
	15	お子さんの学力は、伸びている。	/	2.3	2.3	2.8	2.5	○「お子さんは、学校に通うことを喜んでいる。」が3.0となっています。アンケートの記述から友人と過ごすことを楽しみにしている生徒が多いことがわかりました。
	16	お子さんは、学習用具などの忘れ物をしない。	/	2.8	3.0	3.0	2.9	○「お子さんは、学校に通うことを喜んでいる。」が3.0となっています。アンケートの記述から友人と過ごすことを楽しみにしている生徒が多いことがわかりました。
	17	お子さんは、家庭で学習する習慣が身についている。	/	2.5	2.6	2.7	2.6	○「お子さんは、学校に通うことを喜んでいる。」が3.0となっています。アンケートの記述から友人と過ごすことを楽しみにしている生徒が多いことがわかりました。
	18	生徒はあいさつがきちんとできていますか。	2.9	/	/	/		○生徒指導の保護者評価が高く、落ち着いた学校生活が送られていると思います。
教職員 生徒指導	19	生徒はTPOにふさわしい言葉づかいができますか。	3.0	/	/	/		○不登校生徒の対応について難しいところがありますが、関係機関との連携や教職員が一丸となった取組を今後も継続してください。
	20	生徒は服装や頭髪などのきまりを守っていますか。	3.1	/	/	/		○校則は守っている子が多いと感じます。
	21	全職員が、生徒指導に関する情報を共有していますか。	2.8	/	/	/		○生徒が学校生活をより充実して送るために、生徒がより多くの学校行事やクラブ活動に参加できるような取組や、生徒同士の交流を促進する方法などを考え、改善提案を行います。
	22	どの先生も、同じ方針で生徒指導を行っていますか。	2.6	/	/	/		○生徒が自分の得意分野を生かせるような機会を提供することも、生徒指導の一環として重要なポイントと考えます。
	23	生徒指導委員会が示す毎月の行動目標が、職員に徹底され、組織的な取り組みができるていますか。	2.5	/	/	/		○生活の基本となる部分の評価が高いことはすばらしい結果であると思います。偶に学校に行った際も中学部の子たちはよく挨拶ができているなど感じます。
	24	授業の中で、共感的人間関係づくりや生徒自身が決定する場面設定や生徒が自尊感情の高まりを感じる工夫をしていますか。	3.0	/	/	/		
	25	学校行事の中で共感的人間関係づくりや生徒自身が決定する場面設定や生徒が自尊感情の高まりを感じる工夫をしていますか。	3.1	/	/	/		
	26	お子さんは、あいさつがきちんとできています。	/	3.0	3.1	3.3	3.1	○「お子さんは、服装などのきまりを守っている。」が3.6、「お子さんは、朝食を毎日きちんと食べている。」が3.6と高い数値となっています。今後も家庭と連携し「頑張りカード」の取組や、定期的な生活点検・教育相談等を行っていきます。
	27	お子さんは、服装などのきまりを守っている。	/	3.8	3.6	3.5	3.6	▲あいさつや言葉づかいについては、現状で満足せず、学級活動や部活動等において、教師が率先垂範しさらに向上去を図っていく必要があります。
	28	お子さんは、きちんとした言葉づかいができます。	/	3.1	2.9	3.2	3.1	
	29	お子さんは、朝食を毎日きちんと食べている。	/	3.6	3.6	3.7	3.6	
教職員 豊かな心	30	思いやりや命を大切にする心、正義感や規範意識、望ましい勤労観や職業観など、生徒に豊かな心は育っていますか。	2.9	/	/	/		○生徒の自尊感情や自己肯定感を高め、他を思いやり、自分の夢の実現に向けて努力する生徒の育成を今後も頑張ってください。
	31	道徳科の授業は、計画的に実施されていますか。	3.3	/	/	/		○感謝の心を育てることは、日常的に身近な人々や物事への意識を高めるために重要です。生徒たちが感謝の気持ちを表現することで、前向きな思考が育まれると思います。
	32	道徳科の授業では、多様な資料の使用や指導方法の工夫が行われていますか。	3.3	/	/	/		○心の豊かさを感じる体験を提供する。
	33	生徒の人権尊重の精神を養い育てるこを意識して、日常の教育活動を行っていますか。	3.3	/	/	/		○生徒が感動したり、心を動かされたりするような体験をさせる。
	34	教師自身が人権感覚を磨き、生徒に対する言動や対応に十分注意していますか。	3.2	/	/	/		○教職員、保護者のどちらも評価が高く、先生方の日頃の努力を感じ取ることができます。
	35	3年間を見通した、計画的な進路学習ができますか。	3.0	/	/	/		
	36	生徒の良さの発見に努め、良さをほめていますか。	3.3	/	/	/		
保護者	37	お子さんは、健康・体力づくりに取り組んでいます。	/	2.9	3.0	3.1	3.0	○「お子さんは、人を思いやる子に育っている。」が3.4、「お子さんは、自分も人も大切にできている。」が3.2と高い数値となっています。学校生活においても、良さが生かせるよう生徒同士の交流の場面を多く取り入れていきます。
	38	お子さんは、人を思いやる子に育っています。	/	3.4	3.3	3.4	3.4	▲「お子さんは、自分の考えを話せる子に育っている。」が3.0、「お子さんは、夢や目標に向けて頑張っている。」が3.0となっています。進路学習や総合的な学習の時間における意見交流の場面を充実させる必要があります。
	39	お子さんは、自分の考えを話せる子に育っています。	/	2.8	2.9	3.1	3.0	
	40	お子さんは、自分も人も大切にできています。	/	3.2	3.2	3.3	3.2	
	41	お子さんは、夢や目標に向けて頑張っています。	/	2.7	2.9	3.3	3.0	
教職員 その他	42	各分掌係は、見通しをもって計画的に仕事をしていますか。	3.0	/	/	/		○9年生の「飯塚提言」の発表を聞き、自分の考えを堂々と発表する姿、どうしたらアイディアをアピールすることができるか、どう論理的なプレゼンの仕方が身についてきていることを実感しました。
	43	各分掌係間の連絡や連携は、円滑にできていますか。	2.6	/	/	/		○43の教職員間の連携不足については次年度改善してほしいです。
	44	職員朝礼や職員会議は、効率的に行われていますか。	3.2	/	/	/		○学校行事も新しいものを取り入れ、過去にとらわれることのない改革も必要であると思います。生徒の学校生活がたのしくなるような新しい事業を提案します。
	45	学校行事は、前年の課題が生かされ、改善が図られていますか。	2.9	/	/	/		○学校からの情報提供や保護者からの意見等は学校と家庭の連携において非常に重要な部分になってきますので、比較的高い数値ではありますが、さらに良い結果を目指して工夫していただきたいと存じます。
	46	学校は、家庭への情報提供を十分に行っていますか。	3.5	/	/	/		
	47	小中一貫教育推進で所属する部会の取組は進んでいますか。	2.8	/	/	/		
	48	"学校通信"や"学年通信"には目を通している。	/	3.2	3.3	3.1	3.2	○どの項目も高い数値となっています。今後も学校通信や学年通信、学校ホームページにおいて情報を定期的に発信し、保護者の教育活動への理解につながるよう取り組んでいきます。
保護者	49	幸袋中学校は、よい学校である。	/	3.2	3.0	3.2	3.1	▲アンケートの記述から、必要な情報を知ることができる環境を整えてほしいというご意見がありました。来年度から導入される「テトル」を有効に使っていきたいと思います。
	50	学校の教育活動に協力したいと思う。	/	3.1	3.2	3.2	3.2	